

患者さんのための 国際胃がん教育 シンポジウム



あなたにとって、最適な医療・支援につながるために
一緒に学び、考えていきましょう！



Debbie's Dream Foundation



がん研有明病院



希望の会

【日時】 2025年11月15日 9時から14時予定

【場所】 がん研有明病院 吉田講堂

- 現地参加の方はお申し込みは不要です
直接、会場においでください。
- オンラインでの参加の場合はチラシ下のURLを入力いただくか
QRコードから事前申し込み無しでご参加いただけます
- ★同時通訳がつくので、言葉の壁を気にせずご参加ください

【参加費】 無料 ※どなたでもご参加いただけます

【登壇者】 各国からの医療者・患者家族体験者

希望の会 協賛企業

AstraZeneca

Daiichi-Sankyo



astellas



Bristol Myers Squibb



Oisix ra daichi



オンラインでの参加zoomURL

<https://us06web.zoom.us/j/81997444797>

DDF協賛企業

AMGEN

AstraZeneca

Bristol Myers Squibb



患者さんのための国際胃がん教育シンポジウム プログラム

開会挨拶 10

- がん研究会有明病院 病院長 佐野 武
- Debbie's Dream Foundation (DDF) ジェニファー・スピアーズ
- 認定 NPO 法人 希望の会 理事長 轟 浩美

セッション 1: 60

司会: ハンカン・ヤン(韓国 国立がんセンター 理事長)

- マーチン馬場(DDF)「米国で胃がんになるということ」10
- 小玉仁志(希望の会)「がんと歩む」10
- 井上真奈美(国立がん研究センター)「東洋と西洋の胃がんの違い」10
- 後藤田卓志(がん研有明病院)「胃がん検診と早期発見」10

質疑・討論 20

セッション 2: 60

司会: 笹子三津留(淀川キリスト教病院 理事長)

- テレサ・ティアノ(カナダ My Gut Feeling)「カナダで胃がんになるということ」10
- スンギー・ラー(韓国)「私は早期胃がんの機能温存手術を受けた」10
- 藤城光弘(東京大学)「胃がんの内視鏡診断と内視鏡治療」10
- 布部創也(がん研有明病院)「胃がんに対する機能温存・低侵襲手術」10

質疑・討論 20

----- コーヒーブレイク 20 -----

セッション 3: 60

司会 佐野 武(がん研有明病院)

- ジェニファー・スピアーズ(DDF)「私は胃がん手術を受け、DDFのために働いている」10
- 平野孝博(希望の会)「薬を頼り、人生を生きる」10
- 水野俊美(がん研有明病院)「私はがん専門病院でがん患者さんを支援する」10
- 山口研成(がん研有明病院)「胃がんに対する最先端の全身療法」10

質疑・討論 20

セッション 4: 60

司会: 藤城光弘(東京大学)

- 川上尚人(東北大学)「日本胃癌学会の患者アドボカシー活動」10
- 轟 浩美(希望の会)「胃がん患者会としての10年を振り返って」10
- 清水千佳子(国立国際医療研究センター)「AYA世代のがん患者:支援の必要性と試練」10
- 笹子三津留(淀川キリスト教病院)「がん患者と家族のためのキャンサー・カフェ」10

質疑・討論 20

閉会挨拶 3

がん研究会有明病院 病院長 佐野 武



当日、正面玄関は閉まっていますので、建物左側へ回って救急時間外入り口から入り、まっすぐ進んでください。